

東日本大震災

被災地の仲間たちに 激励と連帯の思いを兵庫から届けよう

3月11日東北・関東・信越地方を襲った大地震は、激しい揺れ、津波に加え、原発事故という、まさに未曾有の大被害をもたらしています。報道される被害状況は、阪神淡路大震災の経験を見る者に思い起こさせます。

被災地では、教職員の仲間たちが懸命の安否確認、救援活動を行っています。兵庫からは遠く離れていますが、生徒・教職員そして住民の命と生活を守るために奮闘する仲間たちに激励と連帯の思いを届けましょう。



発行所
神戸市中央区北長狭通5-2-10
兵庫県高等学校教職員組合
TEL 神戸 (341) 6745~8747
E-mail
honbu@hyogo-kokyoso.com
http://www.hyogo-kokyoso.com
発行人 津川 知久
編集人 松岡 教之

定価 1部 20円
半年分 120円

組合員の購読料は組合費を含め徴収

日程

- 18日(金) 非核神戸36周年集会 (18:00~神戸勤労会館)
- 19日(土) 高教組総括会議(13:30~本部)
- 27日(日) 地域経済・雇用・社会保障を守れ3.27兵庫県民集会(13:00~メリケンパーク)
- 28日(月) 臨教の集い(13:30~私学会館)
- 31日(木) 退職組合員に感謝し激励する集い(11:00~本部)

折々の自白自解は二面に掲載しました。

本日から 被災した各県高教組へ お見舞いの第一報

前日まで電話のつながらなかつた被災地の各県高教組と、ようやく14日昼過ぎに連絡が取れ、兵庫からお見舞いの気持ちを届けることができました。

青森

組合員・教職員・生徒がなくなつたとの通知はまだ届いていないとのことでした。

宮城

仙台市内は電気が回復したが、断水が続き、食糧確保が困難とのことでした。

福島

支部執行委員には連絡が取れない、原発被害に遭つた浜通方面とは連絡が取れない様子でした。

青森高教組書記局から 連日メール届く

「青森県内も、津軽地区(青森・弘前など)を中

心に、少しは落ち着いてきました。：青森県民もテレビが復旧してきて、被災地(岩手・宮城・福島)が大変な事になっていのが分かつてきました。さて、次に、青森の教職員は何をするのがよいのか?求められているのか?神戸の地震などの経験からのヒントなど、お知らせを貸してください。

〇八戸水産高校：4時半頃大きな津波が押し寄せた。水産高校のすぐ下の水産会社の車や港の船が押し流された。水産高校の小型艇も流されてしまつた。海沿いの栽培実習場

兵庫から被災地へ 思いを届けよう

阪神淡路大震災では、不便な生活を強いられ、被災者にとつて、とても励みになりました。今、被災地では、避難生活もままならないほどの甚大な被害を受けながら、地元の高教組の仲間たちが奮闘しています。兵庫から

支援の思いをカンパに託して届けましょう。兵庫高教組は救援カンパに取り組みます。

は津波に襲われた。

※これに対して、早速本部から16年前の経験(震災直後の取り組み)をまとめた資料を送りました。心配された淡路の津波でしたが、11日、12日と、本部から淡路支部の組合員・退職組合員に連絡を取りました。

幸いにも、南部で交通止めがあつた程度で、目立った被害はないとのことでした。

支援の思いをカンパに託して届けましょう。兵庫高教組は救援カンパに取り組みます。

分會名で振り込んでください。通信欄に「東日本大震災カンパ」と書いてください。

兵庫から近畿の高教組に呼びかけ、共同声明を被災地の高教組へ届けました。

二〇一一年三月一四日

未曾有の困難に立ち向かうみなさんに
近高連(日高教近畿ブロック)から
激励と連帯の思いを届けます

近畿高等学校教職員組合連絡会
議長 津川知久(兵庫高教組委員長)

震災・津波そして原発事故という未曾有の困難に直面している道県高教組のみなさま。自らも被災されているにもかかわらず、またいまでも続く余震にもめげず、生徒や職員の方の安全確認で苦労されていることと思います。また多くの学校が避難所となり、組合員・教職員がほとんど眠る間もなく、これに当たつておられるのではないのでしょうか。居住地・避難所で頑張つておられる組合員のかたも多数おられると思います。その献身的な奮闘に、胸が締めつけられる思いでメールを送ります。

今から16年前、近畿では阪神淡路大震災を経験しました。なんとか助かつた生徒・子どもたちと教職員そして住民の安全・安心・いのちを守ることに、それ自体が日々たまたかいでした。被災した生徒の健康・生活・修学保障のための教育委員会と話し合い、避難所運営と教職員の勤務のあり方をめぐつて管理職と交渉しました。未曾有の事態の中で被災者救援を第一としない県・国のありようを、県民的規模の共同で替えていくたかたいも進めました。そしてそれを励ましてくれたのが全教・日高教そして全国の仲間でした。

いままも飛んでいつて少しでも力になることが出来たらと思つていますが、この混乱の中ではないです。でも出来るかぎり早く、近高連として何が具体的にできるか検討し、動き出したいと考えています。「こんなことが足りない、これがあれば」ということがあれば遠慮なくお寄せ下さい。たいへんな救援活動が続くと思つていますが、時々体と精神を休めることに特別に留意されることを願います。私たちは今、しっかりと手を結び合い、困難に立ち向かいます。

展望

未曾有の大災害が、東北・関東を襲いました。その圧倒的な自然の脅威には、ただ唖然とするばかりです。テレビの画面から推し量る惨状には、とても胸が痛みます。

私たちは、16年前の阪神大震災の経験と教訓とを今こそ生かし、この大惨事の救援にとりくまなければなりません。特に、あの阪神大震災時と同じにも、組合の力が結集された事実、組合が中心になつて神戸の復興に立ち向かつていつた事実を、思い出さなければなりません。組合員の皆さん、私たちの教訓と知恵を今こそ伝えるときなのです。

▼政治の場合には、「想定外だった」という言葉が空しく聞かれます。

16年前に何度も聞かされた言葉です。私たちの教訓は何も生かされず、安全神話が崩壊しています。

▼こういう非常時こそ、組合の力とつながる仲間が大切です。私たちは、その大切なことをまず誰よりも理解してきます。

私たちは、阪神大震災のとき、多くの仲間からの支援を戴き、物心ともに励まされました。今回は私たちが立ち上がる番です。義援金を集めましょう。そして、東北の被災した子どもたちに届けましょう。私たちに今できる最大の支援を注ぐうではありませんか。

支援の広がり 続々と

淡路支部・淡路高校一宮校

住む家も失った被災地を救援しようと訴え、10名の職場ですが、4万円集まりました。3月で閉校のため、主任手当基金もカンパにしました。

尼崎支部・県尼崎高校分会

職場の一人一人に依頼したところ、千円、二千円と募金が寄せられ、合計、52000円になりました。

県高支部・舞子高校分会

生徒会が3月18日～4月6日、午後2時から、垂水駅前募金活動を行います。

被災地に向けて支援の輪がどんどん広がりつつあります。3月17日中央執行委員会でも、職場・単組・支部での取り組みが報告されました。

但馬支部・八鹿高校分会

分会長がまず10口分の1万円。それに続いて続々と5千円が投ぜられました。

丹有支部

支部で取り組みを確認。支部闘争基金からもカンパすることを決定しました。

市高

大都市高教組連絡協議会に呼びかけ、カンパを神戸から集中して送る計画。分会でのカンパも取り組みが進んでいます。

西播支部・相生産業高校分会

分会員が朝礼でカンパの訴え。いくらでもいいか、と声がかかり、どっと集まりました。

阪神・淡路大震災救援・復興兵庫県民会議が街頭募金活動



3月15日昼、阪神・淡路大震災救援・復興県民会議の呼びかけにより、神戸元町大丸前にて被災者支援の街頭募金活動が行われました。高教組も参加し、

15団体60人が募金を呼びかけました。買い物客やサラリーマンが、次々に募金箱に駆け寄ってきました。1時間で29万円が集まりました。



新・折々の自句自解 西宮香風高校 見目 誠
 春の芽の咲く直前の紅の濃き
 幸いかごとし筆者の勤務校の近くは、阪神間でも指折りの桜の名所である。物事なんでもくうだが、成就する直前が緊張感がもとも高まるのであろう。錯覚であるにせよ、桜の開花する直前が美しいように思う。かつて兼好法師が書いたように、盛りを過ぎた花もそれはそれで情緒があるのだが...



3月17日夜、兵庫労連が神戸大丸前で街頭募金活動を行っていたところ、カメラを持った青年が、募金を呼びかける参加者に被災地への応援メッセージを書かせ、写真を撮って回っていました。被災地に向けての応援として、写真をウェブサイトに掲載するとのこと。いろいろな形で青年達も被災者支援に立ち上がっています。



被災地に届け!

二〇一一年度兵庫高教組本部役員選挙の 開票結果について 兵庫高教組本部役員選挙 選挙委員長 河島 俊雄 二〇一一年度兵庫高教組本部役員選挙 について、3月10日に開票したところ 記の結果となりましたので報告します。 中央執行委員長 雨松 康之 中央執行副委員長 橋尾 明 信任 大谷 弘志 信任 佐和 良一 信任 小野 泰司 信任 永井 章夫 信任 福住 宏之 信任 松岡 敦之 信任 岩崎 善行 信任 中村 太朗 信任 川村 淑子 信任 津川 知久 信任 中田 雅久 信任 川崎 裕 信任 馬澄 俊誠 信任 横山 法次 信任 上延 正博 信任 田中崇由希 信任 阪裏 利博 信任 中澤 克行 信任 公手 克子 信任		二〇一一年度兵庫高教組本部役員 補充選挙公示 兵庫高教組本部役員補充 選挙委員長 河島 俊雄 二〇一一年度兵庫高教組本部役員補充 選挙を高教組規約第55条に基づき下記 の通り公示します。 1 改選役員の役職及び定数 (1) 非専従役員 (7名) ① 中央執行委員 1名 ② 単組・支部毎に1名の 6名 中央執行委員 2 役員の内訳 一〇一一年4月22日から 二〇一二年3月31日まで 3 立候補受付期間 二〇一二年3月14日(月)から 4月1日(金)午後5時まで 4 立候補手続 略 5 投票期間 二〇一二年4月13日(水)から 4月18日(月) 6 開票日 二〇一二年4月21日(木) 16時より
---	--	--